令和８年度 ＪＲローカル線 維持・利用促進協議会　次第

日時：令和８年４月16日（木）14：00～15：30
場所：兵庫県２号館５階庁議室

１．開　　会

２．議　　題

（１）各路線ワーキングチームの報告　　・・・資料１

（２）広域的な取組　　・・・資料２

（３）意見交換

３．閉　　会

【参考資料】
・各ワーキングチームの令和７年度の取組結果一覧　　参考資料１
・ＪＲローカル線 維持・利用促進協議会　設置要綱　　参考資料２

令和８年度 ＪＲローカル線 維持・利用促進協議会　出席者

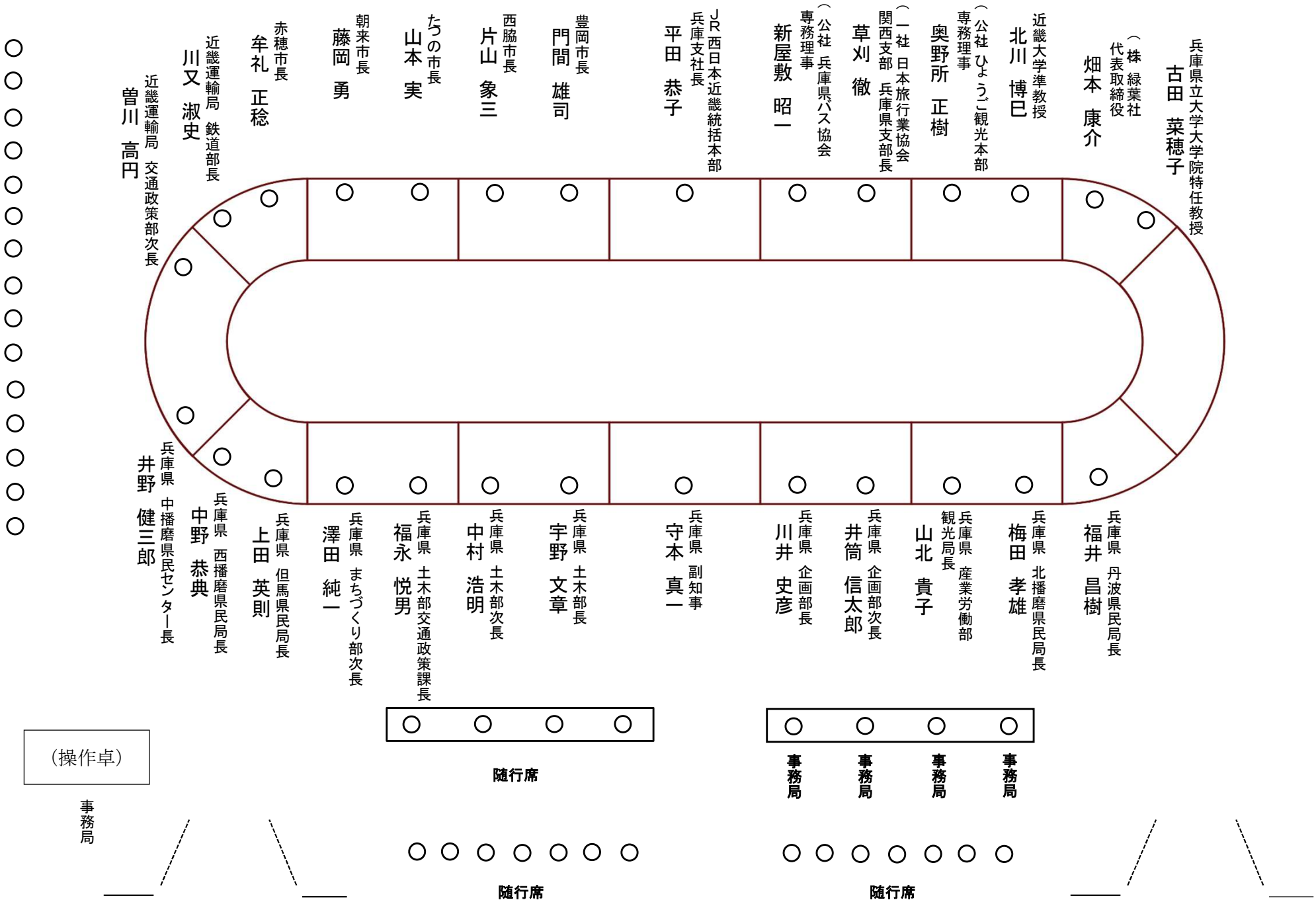
下線：令和８年度から出席

区　分		氏名	所属・役職	備考
ＷＴ代表（沿線市町）		門間　雄司	豊岡市長（山陰線ＷＴ代表）	
		片山　象三	西脇市長（加古川線ＷＴ代表）	
		山本　実	たつの市長（姫新線ＷＴ代表）	
		藤岡　勇	朝来市長（播但線ＷＴ代表）	
		牟礼　正稔	赤穂市長（赤穂線代表）	
ＪＲ西日本		平田　恭子	近畿統括本部兵庫支社長	
交通事業者		長尾　真	(公社)兵庫県バス協会長	※代理出席：専務理事　新屋敷　昭一
観光事業者		草刈　徹	(一社)日本旅行業協会関西支部 兵庫県支部長	
有識者	交　通	北川　博巳	近畿大学准教授	
	まちづくり	畑本　康介	(株)緑葉社代表取締役	
	観　光	古田　菜穂子	兵庫県立大学大学院特任教授	
ひょうご観光本部		奥野所　正樹	専務理事	
兵庫県		守本　真一	副知事	
		川井　史彦	企画部長	
		宇野　文章	土木部長	
		井筒　信太郎	企画部次長	
		中村　浩明	土木部次長	
		福永　悦男	土木部交通政策課長	
		山北　貴子	産業労働部観光局長	
		澤田　純一	まちづくり部次長	

（**オブザーバー**）

近畿運輸局		平山　耕吏	交通政策部長	※代理出席：交通政策部次長　曽川 高円
		川又　淑史	鉄道部長	
ＷＴ事務局		上田　英則	但馬県民局長（山陰線・播但線）	
		梅田　孝雄	北播磨県民局長（加古川線）	
		中野　恭典	西播磨県民局長（姫新線・赤穂線）	
		井野　健三郎	中播磨県民センター長（播但線・姫新線）	
		福井　昌樹	丹波県民局長（加古川線）	

配　席　図

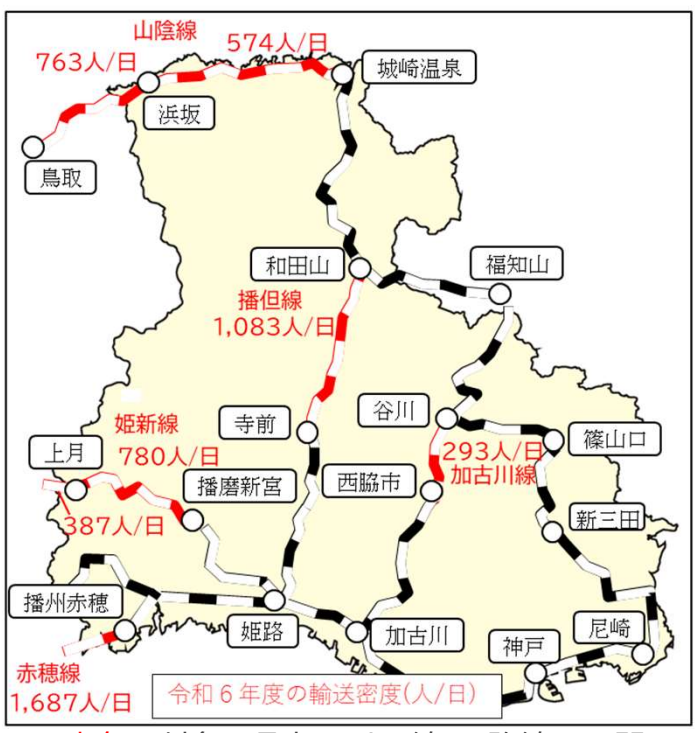


JRローカル線 維持・利用促進協議会　開催経緯

○協議会(RT)の開催経緯

令和4年度	4月11日	JRが輸送密度2000人/日未満の収支公表
	同月　27日	知事定例会見にて「**議論をする場**」について発表
	6月24日	第１回　**全県協議会（RT）**が本庁で開催
	7月～8月	各路線で**ワーキングチーム（WT）**が開催
	2月1日	協議会の開催（取りまとめ）、WTの継続設置
令和５年７月18日		協議会の開催、（各WT開催）
令和６年７月19日		〃
令和７年７月28日		〃　※11月**「赤穂線」が収支公表**
令和８年４月16日		協議会の開催（赤穂線参画）

※路線毎のWTは年度内２回開催



▲赤色：対象の県内ローカル線(５路線７区間)

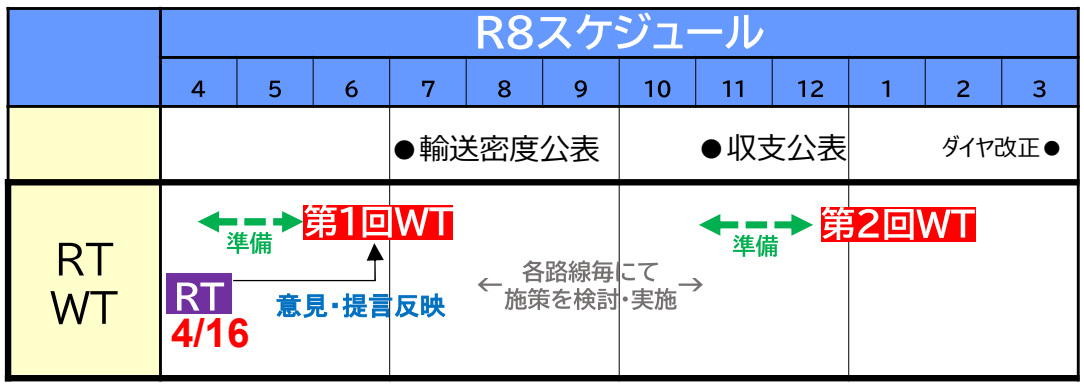
○体制

≪JRローカル線維持・利用促進協議会≫
・利用促進(各WT)の取組状況の把握
・利用促進の取組の改善等の検討
・優良事例、先進事例の横展開

【構成員】
副知事
企画部長、土木部長
沿線首長、JR他

山陰線WT（但馬県民局）	播但線WT（但馬県民局）	姫新線WT（西播磨県民局）	加古川線WT（北播磨県民局）	赤穂線WT（岡山県）

利用促進の取組状況の把握・検証／地域の実情に合わせた利用促進策の検討



輸送密度		R元年度	R２年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
赤穂線	播州赤穂～長船	2,178	1,677	1,634	1,726	1,746	1,687
山陰本線	城崎温泉～浜坂	693	506	606	721	574	574
	浜坂～鳥取	921	798	738	768	792	763
播但線	寺前～和田山	1,222	714	924	972	1,047	1,083
加古川線	西脇市～谷川	321	215	207	237	275	293
姫新線	播磨新宮～上月	932	750	774	822	813	780
	上月～津山	413	346	358	386	401	387

資料１-３

令和７年度の主な取組結果

姫新線WT

令和7年度の主な取組結果

姫新線

R7の方向性

○日常利用の促進：利用補助による利便性向上と利用者のマイレール意識の醸成

○観光需要の促進：ひょうごフィールドパビリオン等の観光コンテンツの発掘や改良による利用促進

○まちづくりと一体となった魅力創出：社会活動家等と連携した沿線地域活性化の取組

R7の総括

○駐車場等使用料助成や通学定期券購入助成事業を実施したほか、駅周辺の清掃活動等マイレール意識の醸成に向けた取組を進めた

○ひょうごフィールドパビリオン等沿線資源を利用したイベントを開催し観光需要の掘り起こしに寄与

○地域の社会活動家を主体に商店街や地元自治会、沿線学校等と連携し取組を進めた

【たつの市　屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング】

【佐用町　栗拾いツアーの様子】

【マイレール月間（中吊り広告）】

令和7年度の主な取組結果

姫新線

1　たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業

日常利用の促進

【概　要】

事業内容　**駐車場、駐輪場の月極使用料**の**全部**または**一部助成**

特　　徴　市内の駅を起点又は終点の定期券利用者が対象

実施主体　たつの市（R7予算：3,056千円）

実施期間　令和７年度

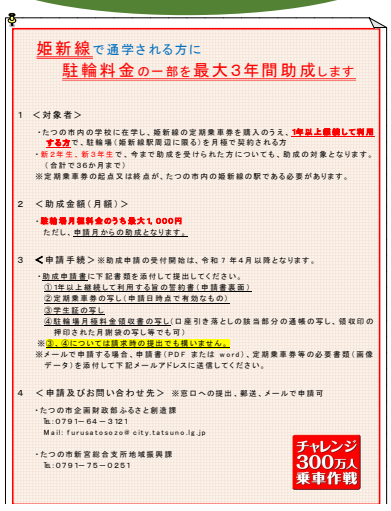
実施結果　申請者：175名（R8.３月末）

通学：156名　通勤：19名

【実施状況・課題】昨年度（ R7.3月末：185名 ）と比較し減少したが、

通勤利用は増加している

【今後の展開】　引き続き事業を実施



【市内高校へのチラシ】

【R7広報誌】

2　佐用町姫新線等鉄道利用促進事業

日常利用の促進

【概　要】

事業内容　**①佐用町大学生等通学定期券購入助成事業**

佐用町内在住の大学生等の**通学定期券購入費用を助成**

特　　徴　姫新線降車後の他路線やバスも助成対象

実施主体　佐用町（R7予算:6,000千円）

実施期間　令和7年度

実施結果　利用者数66名（R8.3月末）

（R7.3月末：62名）

【実施状況・課題】昨年度と比較し、若干増加した

【今後の展開】既利用者に対し後追い調査を実施

【概　要】

事業内容　**②鉄道利用促進のための乗車券支給事業**

佐用町内の駅から鉄道を利用する者に、

片道分※の乗車券を支給　※津山～姫路間

実施主体　佐用町（R7予算:800千円）

実施期間　令和7年度

実施結果　申請件数202件、利用者数701名（R8.3月末）

（R7.3月末：申請件数210件、利用者数815名）

【実施状況・課題】昨年度と比較し申請件数、利用者数ともに減少したが、

イベントでの利用という新たな動きもあった

【今後の展開】年齢制限の緩和を検討（現在高校生不可）

令和7年度の主な取組結果

姫新線

3　WESTERへの情報集約・発信

観光需要の増加

【概　要】

事業内容　各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信

実施主体　JR西日本、沿線自治体

実施期間　通年

実施結果　たつの市：スポット11件、イベント8件

佐用町　：スポット3件、イベント3件

【実施状況・課題】イベント情報を継続して、ご提供いただいている

【アプリ画面】

4　姫新線車両基地ファミリー見学会

日常利用の促進

【概　要】

事業内容　姫新線のご利用機会をつくり、親しみを持っていただくために余部車両基地内の見学及びお仕事体験イベントを実施

実施主体　姫新線利用促進・活性化同盟会、JR西日本

実施期間　11月22日

実施結果　参加人数：33組 101名（応募420組1358名）

【実施状況・課題】

・運転シミュレーター体験など、車両基地ならではのJRお仕事体験

・地元太市の竹を使ったモノづくり体験

・姫新線を利用することを参加条件として、会場と駅間で送迎バスを手配

【今後の展開】　来年度実施予定

【R7年度の様子】

令和7年度の主な取組結果

姫新線

5　姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー

観光需要の増加

【概　要】

事業内容　ひょうごフィールドパビリオンに認定されている西はりま天文台で「昼間の星と太陽の観察会」「夜間天体観望会」を実施

特　　徴　沿線の地域資源と姫新線を結んだイベント

実施主体　西播磨県民局（R7予算:246千円）

実施期間　１２月６日

実施結果　31名

【実施状況・課題】参加者アンケートにて9割の参加者がまた乗りたいと回答

【今後の展開】　アンケート結果をもとに姫新線の県内・外へのPRに役立てていく

【天体観測の様子】

【イベントチラシ】

6　沿線学生による「マイレール月間」の取組［新］

日常利用の促進

まちづくりと一体となった魅力創出

【概　要】

事業内容　姫新線の主な利用者である学生自らが、利用促進や地域住民等への関心を高める取組を集中的に実施し、「マイレール＝自分たちの鉄道」意識の醸成を図る

特　　徴　任意の1か月をマイレール月間とし、マイレール意識を高める取組を集中的に実施

実施主体　西播磨県民局（R7予算：385千円）

実施期間　令和７年度3月

実施結果　中づり広告掲出、利用啓発講演会、駅周辺の清掃活動、ノベルティの作成・配布等を実施

【今後の展開】利用者のマイレール意識の醸成を図れるよう引き続きマイレール月間を設け、集中的に利用促進に向けた取組を実施

【中吊り掲出画像イメージ】

令和８年度の取組

姫新線WT

令和8年度の取組（一覧）

姫新線

R8の方向性

○日常利用の促進：駅環境の充実や利用補助等による利便性向上と利用者のマイレール意識の醸成に取り組む

○観光需要の促進：ひょうごフィールドパビリオン等沿線の地域資源を活用した利用促進

○姫新線開通90周年を契機とした利用促進
：令和8年は姫新線開通90周年の節目を迎えることから各団体と連携して利用促進に取り組む

【姫新線車内の中吊り広告】

【千本駅駐車場整備（予定）】

【佐用高校生が作成した利用促進
パネル・ポスター】

【ﾌｨｰﾙﾄﾞﾊﾟﾋﾞﾘｵﾝ体験ツアーの様子
（西はりま天文台）】

令和8年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業	定期乗車券を購入し、姫新線を利用する方の駐車場又は駐輪場の月極使用料の一部を助成し、姫新線利用者の増加及びマイレール意識の醸成を図る （対象者） 播磨科学公園都市圏域内（たつの市、佐用町、宍粟市、上郡町）に在住又はたつの市内の事業所に勤務、若しくは学校に在学する者で、通勤、通学等のため、たつの市内に所在する駅を起点又は終点として姫新線を利用する者	2, 616千円	たつの市	●		
【新】千本駅駐車場整備事業	千本駅の駐車場を改修	18,000千円	たつの市	●		
千本駅トイレ整備事業	千本駅のトイレを改修	20,000千円	たつの市	●		
たつの市民まつりにおけるPRブースの出店	たつの市民まつりにおいて、姫新線クイズや、利用啓発パネルを掲示し、来場者に姫新線をPR	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会 （たつの市）		●	
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR姫新線東觜崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキングを実施	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会 （たつの市）		●	
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内のこども園にお菓子購入代金（1人につき200円程度）を支給	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会 （たつの市）	●		

令和8年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
オータムフェスティバル協賛事業	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券を配布し、姫新線利用促進と併せて、オータムフェスティバルへの誘客を図る	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
しんぐうふるさとフェスタ協賛イベント	姫新線を利用してイベントへ来場された方に播磨新宮駅にてノベルティを配布し、利用促進と併せてしんぐうふるさとフェスタへの誘客を図る	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
【新】姫新線開通90周年記念事業	姫新線の開通90周年を記念するイベントを実施	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会		●	
佐用町大学生等通学定期券購入助成事業	佐用町内在住の大学生等の通学定期券購入費用を助成し、地域公共交通の利用促進と若者世代の本町への定住促進を図る （助成内容） 通学定期券1ヶ月分に対して、5,000円以下は全額を助成※5,000円を超える部分は２分の１の金額を助成（ただし、月額上限8,000円） （拡充内容） ①助成対象年齢を満25歳までに引き上げ(R5) ②一部助成対象外となっていた学校について、対象となるよう要件を見直し(R5)	6,000千円	佐用町	●		

令和8年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
鉄道利用促進のための乗車券支給事業	佐用町内の駅から鉄道を利用する団体に、片道分の乗車券を支給 令和５年度からは利用要件を緩和し、更なる利用促進を図っている （助成対象者）２名以上 （対象区間）　姫新線：津山～姫路 智頭線：上郡～智頭 （申請期限）　利用日の２週間前まで （回数制限）　１人につき月１回まで （拡充内容）　年齢制限の緩和を検討	800千円	佐用町	●		
栗ひろいと佐用町を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーとして、秋期に栗ひろいや周辺の観光施設など秋を満喫するツアーを実施	同盟会予算		●		
佐用高校生等による利用促進活動への補助	佐用高校生等が取り組む利用促進活動（沿線でのイベント開催や利用促進啓発ポスター・パネル等の作成）への補助	同盟会予算				
駅施設へのポスター・チラシ掲出	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスター掲出やチラシ配架の依頼があれば可能な範囲で協力	ー	ＪＲ西日本及び各自治体	●		
姫新線車両基地ファミリー見学会	姫新線のご利用機会を作り、親しみを醸成するために余部車両基地内の見学及びお仕事体験イベントを実施		姫新線利用促進・活性化同盟会、JR西日本	●		

令和8年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
会員事業所への利用依頼及びHPによる広報活動	会員事業所に鉄道利用を促すチラシを配布するとともに、HPやSNSに掲載することで事業所（通勤者）の鉄道利用を促進	商工会予算	たつの市商工会	●		
会員事業所への姫新線利用呼びかけ	商工会HP、Facebook等のSNS及び会員へのＤＭ発送により姫新線利用の呼びかけを実施する	－	佐用町商工会	●		
イベント列車の運行	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施	396千円	西播磨県民局		●	
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー	姫新線沿線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施					
沿線学生による「マイレール月間」の取組	任意の１か月をマイレール月間とし、中吊り広告の掲出や駅周辺の清掃活動等の取組を集中的に実施	385千円	西播磨県民局	●		
岡山県との連携事業	岡山県美作県民局と連携して、駅等で相互PR資材の配架スペース設置や協力施設を増やす他イベントの相互出展を検討	80千円	西播磨県民局 美作県民局	●	●	
県民局職員による「月イチ！姫新線乗車大作戦」の推進	県民局職員に対し、月１回以上の姫新線乗車を呼びかける	ー	西播磨県民局	●		
姫新線グッズ作成	各イベントで配布できるようなノベルティを作成・配布	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会		●	
姫新線ファンクラブ	SNS「X」の公式アカウントのフォロワーを姫新線ファンクラブの会員と定め、姫新線に関する情報を随時発信し、親しみを持ってもらえるように運用	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会	●	●	

資料２

広域的な取組

ひょうごフィールドパビリオンの展開

広域的な取組

➢　2025年大阪・関西万博に合わせて、**国内外の多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」**を展開

認定数

認定プログラム数：268※件

ひょうごフィールドパビリオン

※万博期間中の登録数

(うちプレミア・プログラム※：9件)

※認定プログラムのうち、特に地域の核となる取組

実施結果等

〇来訪者の満足度

・「SDGs の理解が深まった」と思う来場者の割合 80%

・「兵庫をまた訪れたい」と思う来場者の割合 80%

ひょうごフィールドパビリオンを基盤とした万博関連事業の展開により、新たな価値の創出と交流人口の拡大、ふるさとの魅力の再評価、県内・国内外の様々な主体との連携、子どもたちの参画などの成果が生まれた。

（出典：ひょうごフィールドパビリオン　公式HP）

（出典：大阪・関西万博に向けた
兵庫県の取組検証結果報告書）

各路線を訪問する広域的な利用促進

広域的な取組

➢有識者によるご提案の実践
　各路線の**魅力発信・プロモーションの展開**による**JRローカル線利用の啓発**

アゲていこう冬兵庫　冬のごほうび旅キャンペーン

実 施 概 要：JR西日本とひょうご観光本部が連携し、兵庫県の「冬の魅力」を体験する旅企画。冬でも安心な公共交通を利用して県内周遊を促すことを目的。

実 施 期 間：1月13日～2月28日

実 施 内 容：各地域での飲食・体験・購買などの消費拡大を促し「兵庫をめぐる楽しさ」と「地域でのごほうび体験」を実感する２つの企画を実施。

①「冬のごほうびスタンプ！」・・・周遊きっぷ購入者が参加可能

②**「冬のごほうBINGO！」　・・・・どなたでも参加可能**

・各条件達成で、WESTERポイントの付与、特産品等を贈呈。

・北部版では、県内ﾛｰｶﾙ線の一部の駅が「スポット」として登録。

【山陰線】浜坂駅・香住駅・餘部駅・城崎温泉駅・豊岡駅

【播但線】竹田駅・生野駅

【加古川線】久下村駅・日本へそ公園駅

【姫新線】佐用駅・上月駅

【赤穂線】播州赤穂駅

実 施 結 果：「冬のごほうBINGO（北部版）」１つ以上スタンプを押印した参加者数 **4,175**人

うち、JRローカル線スタンプ押印者総数　**973**人

駅名（一部のみ掲載）	ｽﾀﾝﾌﾟ押印者数
城崎温泉駅	271人
竹田駅	117人
生野駅	117人
日本へそ公園駅	107人
久下村駅	98人
浜坂駅	75人

考察と課題：〇駅利用を条件にするBINGOマスを配置することで、駅起点の行動が促された。また北部版ではローカル線利用が必須となるBINGO達成者が多く、**地方線への誘客に効果を発揮**した。

〇「たんば恐竜博物館」「にしわき経緯度地球科学館『テラ・ドーム』」「城崎マリンワールド」「玄武洞ミュージアム」などの**体験施設が、駅からの寄り道先として強く機能**。

各ローカル線沿線首長・議長による国土交通省への要望・意見交換

広域的な取組

➢服部副知事、JRローカル線維持議員連盟〔内藤県議・石川県議〕、安達技監、宇野土木部長及び沿線の首長・議長による**JRローカル線への財政支援**・**利便性向上への積極的関与**などを要望

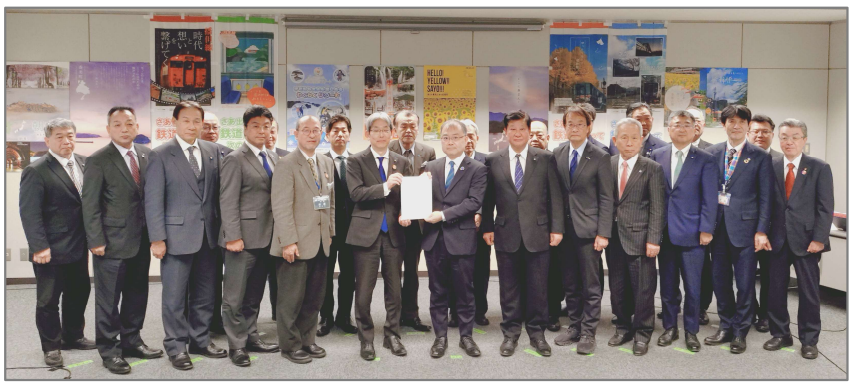
国土交通省　酒井副大臣への要望

実施日：令和８年１月２８日

酒井副大臣より
○要望内容について、しっかりと話をさせていただく。
○地方の実情を踏まえて取り組んで参りたい。

国土交通省　鉄道局との意見交換

実施日：令和８年１月２８日



鉄道局　田島官房審議官
○地域においてそれぞれ工夫をしながら熱意をもって利用促進に取り組んでいることに敬意を表したい。
○要望事項をしっかりと受け止める。

各WTの利用促進施策の県HP掲載

広域的な取組

➢JRローカル線の利用促進に関する助成制度やイベント開催について
一人でも多くの県民に知っていただくために各県民局・県民センタートップページに**バナーを配置**

ホームページ掲載内容

お知らせ

北播磨県民局令和8年度主要施策（案）
「東はりま文化子午線」第49号作品募集（川柳・短歌・俳句・詩・随筆）（外部サイトへリンク）
北播磨の魅力を歩いて楽しむフットパスコース
北播磨PRマテリアル総選挙
YouTubeで北播磨の情報を発信中
北播磨地域ビジョン2050（令和4年3月策定）
（北播磨地域）移住の取組
（北播磨地域）ふるさとUターン求人情報について
ふるさと北播磨の宝もの

北播磨県民局加古川流域土地改良事務所 ›
北播磨県民局加東土木事務所 ›

関連事業等

▲各県民局のトップページのバナー配置
（掲載：北播磨県民局）

県民局の取組と沿線市町の取組を紹介▶
（掲載：但馬県民局）

但馬県民局の取組

- 令和4年度／JRローカル線維持・利用促進ワーキングチーム(JR山陰本線／JR播但線)
- 令和5年度～／JRローカル線利活用協議会(ワーキングチーム)(JR山陰本線／JR播但線)
- JRローカル線駅周辺活性化モデル事業(JR山陰本線／JR播但線)
- 夢但馬周遊バスたじまわる（外部サイトへリンク）

但馬地域鉄道利便性向上対策協議会

- 総会

次第　出席者名簿　配席図　第1号議案　第2号議案　第3号議案　第4号議案　第5号議案

- 豊岡車両基地見学会

各市町の取組

JR山陰本線及びJR播但線の維持・活性化のため、沿線市町では利用促進施策を実施しています。

- JR山陰本線の取組一覧（PDF：1,305KB）
- JR播但線の取組一覧（PDF：1,301KB）

市民・町民を対象とした鉄道利用助成制度も多数ございます。詳細は各市町のホームページをご覧ください。

豊岡市	公共交通利用促進｜豊岡市公式ウェブサイト
養父市	公共交通／養父市
朝来市	鉄道 - 朝来市公式ホームページ
香美町	公共交通｜香美町
新温泉町	鉄道 ｜ 公共交通 ｜ くらし ｜ 新温泉町
神河町	交通 ｜ 兵庫県神河町

JRローカル線利用促進イベントにかかる統一アンケート調査の実施

➢出発地や属性、頻度などを見える化し、検証を行うことで**より効果的なイベント事業の開催**へ繋げる。

山陰線(イベント名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)利用者アンケート調査

アンケート調査を実施します。お楽しみのところ申し訳ありませんがご協力をお願いします。

問１　あなたのことについてお答えください。（差支えない範囲で結構です）

１．年齢（　　歳代）　２．ご職業（会社員・学生・自営業・公務員・経営者・無職・　　）
３．自動車運転免許証（あり・なし）　４．自動車の保有（あり・なし）

問２　どこからお越しになりましたか。

出発地	１．自宅　２．通学先　３．通勤先　※下記にて差し支えない範囲で詳細を教えてください。
	居住地〔　　市町〕施設名・企業名・学校名・〔　　〕

問３　どうやってお越しになりましたか。

１．徒歩　２．自転車　３．自動車（自ら運転）　４．自動車（送迎）　５．原付・バイク
６．バス　７．タクシー　８．鉄道〔乗車駅：　　〕

問４　このイベントは何で知りましたか。

１．広報誌　２．新聞　３．駅掲示　４．チラシ
５．知人から　６．行政HP・SNS〔　　〕
７．その他〔　　〕

問５　来場理由に一番近いものを一つお答えください。

１．内容が魅力的だったから　２．鉄道が好きだから
３．山陰線を活性化したいから
４．地域を活性化したいから
５．偶然通りかかった　６．その他〔　　〕

問６　今後の開催に向けてそれぞれ一番近いものをお答えください。

Q.次回開催について ⇒ １．参加したい　２．参加したくない
Q.開催場所について ⇒ １．同じ場所がよい　２．別の場所で開催してほしい
Q.開催回数について ⇒ １．増やしてほしい　２．同程度でよい　３．減らしてもよい
自由記述〔　　〕

問７　今回のイベントの満足度をお聞かせください。

悪い ← １・２・３・４・５ → 良い
自由記述〔　　〕

問８　あなたの 城崎温泉 駅～ 鳥取 駅間の利用頻度をお答えください。

１．通勤・通学で利用している　２．日常的に利用している　３．週・月 ＿＿＿日程度
４．年に数日程度　５．今日初めて利用した　６．その他（　　）

問９　イベントを通じて 山陰線や沿線地域への興味・関心が高まりましたか。

１．とても高まった　２．少し高まった　３．そうでもない　４．その他（ご意見あれば記載ください）
〔　　〕

問10　城崎温泉 駅～ 鳥取 駅間に関するご意見やどのような取組があれば良いか教えてください。

調査にご協力くださり、ありがとうございました。

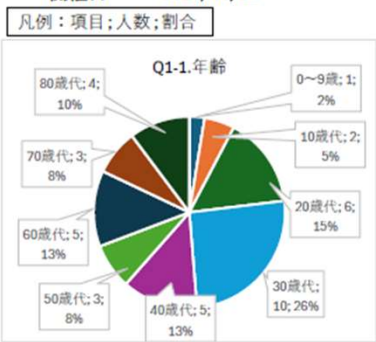
▲山陰線での実施アンケート用紙（路線毎に駅名等を変更）

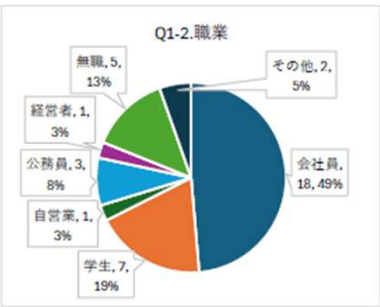
※紙面・WEBどちらでも回答可能

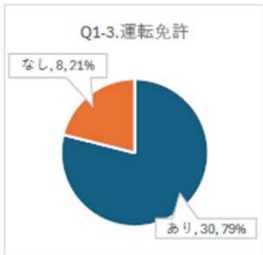
集計結果例

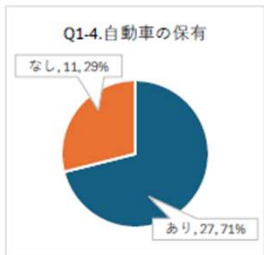
イベント名　JR加古川線リレーマルシェ×空飛ぶランタン　**アンケート結果**
開催日　2025/11/22　**回答者数**　39　人　(1/2)

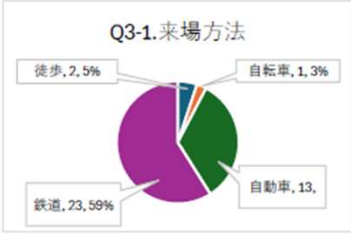
凡例：項目；人数；割合











意見交換

閉　会

参考資料１-３

令和７年度の取組結果一覧

姫新線WT

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業	定期乗車券により姫新線を利用する方の駐車場、駐輪場の月極使用料の全部又は一部を助成し、姫新線利用者の増加及びマイレール意識の醸成を図った	3,056千円	たつの市	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】申請者：175名（R8.3月末） 【今後の展開】引き続き事業を実施					
千本駅トイレ整備事業	千本駅のトイレ改修	20,000千円	たつの市			●
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】施工前 【今後の展開】】来年度へ繰越					
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内のこども園にお菓子購入代金（1人につき200円程度）を支給	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】申請状況：4園（R8.3月末） 【今後の展開】継続して実施					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市民まつりにおけるPRブースの出展	たつの市民まつりにおいて、姫新線クイズや、利用啓発パネルを掲示し、来場者に姫新線をPR	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】11月3日 【実施状況・課題】姫新線クイズや姫新線ファンクラブの勧誘を実施 クイズ参加者：先着150名　ファンクラブ加入者：1名 【今後の展開】モビリティ・マネジメントの一環として、より多くの方に姫新線を周知する					
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR姫新線東觜崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキングを実施	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】2月7日 【実施状況・課題】参加者：121人 【今後の展開】来年度も引き続き実施					
【新】龍野納涼花火大会メッセージ花火	龍野納涼花火大会にて、利用促進のメッセージを打ち上げとともに放送	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】8月2日 【実施状況・課題】来場者に花火とともに姫新線のPRを実施 【今後の展開】今後も様々な場面で姫新線をPRしていく					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】皮革まつり協賛イベント	姫新線で来場された方にノベルティを配布し姫新線利用促進と併せて、皮革まつりへの誘客を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】11月15日 【実施状況・課題】配布数：37名　　姫新線を利用して参加される方は少ない印象 【今後の展開】姫新線を利用したイベント参加を促進する施策を検討					
オータムフェスティバル協賛事業	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券を配布し、姫新線利用促進と併せて、オータムフェスティバルへの誘客を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】11月22日～11月23日 【実施状況・課題】引換券配布数：200枚　交換実績：146枚（73%） 【今後の展開】引き続き観光利用促進のため、事業を継続して実施					
【新】ノベルティの作成	姫新線をモチーフにしたノベルティを作成し、市内のイベント等へ姫新線で来場された方に配布し、利用促進を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】アルコールウェットティッシュ 【今後の展開】イベントで配布					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
しんぐうふるさとフェスタ協賛イベント	姫新線を利用して来場された方に播磨新宮駅にてノベルティを配布し、利用促進と併せてしんぐうふるさとフェスタへの誘客を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】3月8日 【実施状況・課題】配布人数：36人（目標30人） 【今後の展開】姫新線を利用したイベント参加を促進する施策を検討					
佐用町大学生等通学定期券購入助成事業	佐用町内在住の大学生等の通学定期券購入費用を助成し、地域公共交通の利用促進と若者世代の本町への定住促進を図った	6,000千円	佐用町	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】利用者数68名（R8.3月末） 【今後の展開】既利用者に対し後追い調査を実施					
鉄道利用促進のための乗車券支給事業	町内の駅から鉄道を利用する団体(2名以上)に、片道分の乗車券を支給	800千円	佐用町	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】申請件数202件、利用者数701名（R8.3月末） 【今後の展開】年齢制限の緩和を検討（現在高校生不可）					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】駅周辺イルミネーション事業	佐用町合併20周年事業として実施 駅前にイルミネーションを設置する地域団体に対し装飾LED電球の購入補助	300千円	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）			
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】**クリスマスに合わせ実施 【期間】三日月　12/7～1/24、播磨徳久（新）12/24～1/9、 佐用　12/19～12/25、上月（新）12/20～1/17 【実施状況・課題】点灯式に合わせたイベントの実施や、各駅における独自性ある取組は、参加者から好評を博した。実施した地域団体においても達成感が得られたことから事業意義を確認できた 【今後の展開】来年度以降もそれぞれの地域がイルミネーションを継続する予定				●	●
【新】鉄道利用促進特典費用助成事業	佐用町合併20周年事業として実施 地域団体等が実施するイベントで姫新線利用促進のために利用者に特典を付与する際の経費補助	100千円	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会			
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】**助成実績無し 【実施状況・課題】地域団体等が補助金に頼らず自発的に鉄道利用を促す取組を実施。イベントポスター等でのJR姫新線利用の呼びかけや来場者の意識改革、イベント出発地への移動手段としてJR姫新線を利用する仕組みを導入し、普段鉄道を利用しない層に対しても、実際の乗車体験を提供する機会を創出した				●	●
栗ひろいと佐用町を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーとして、秋期に栗ひろいや周辺の観光施設など、秋を満喫するツアーを実施	同盟会予算	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）			
（実施結果・今後の展開等）	【期間】10 月 4 日 【実施状況・課題】71 組 155 名から応募があり好評であった 当日は雨だったため栗ひろい自体は中止であったが、同じ場所で開催されているイベントや平福散策は実施 参加者にお土産（栗）を準備していたので好評だった 【今後の展開】栗ひろいは好評のため続けていく 雨の場合の対応と、平福以外の散策場所を検討				●	

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】啓発パネル作成と佐用高校生による利用促進活動への補助	姫新線利用促進イベント等で掲示する利用促進啓発パネルの作成と佐用高校生が取り組む利用促進活動への補助	同盟会予算	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）	●	●	●
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** ①【期間】11月3日 【実施状況・課題】佐用町収穫祭にて会場の商店街でクイズラリーを実施 ②【期間】3月5日完成 【実施状況・課題】利用促進のポスター・パネルを高校生がデザインし作成 パネルの設置場所が課題					
駅施設へのポスター掲出・チラシ配架	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスター掲出やチラシ配架の依頼があれば可能な範囲で協力	ー	JR西日本及び各自治体	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】通年 【実施状況・課題】駅等で掲出することにより、多くのお客様の目に留まる 【今後の展開】今後も可能な範囲で協力					
南光ひまわり祭りでのおもてなし	姫路駅で一日駅長によるお見送り 名誉駅長（播磨徳久駅）と佐用町商工会合同のお迎えや案内の実施	ー	JR西日本及び各自治体		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】7月19日～8月3日の土日祝 【実施状況・課題】佐用町立南光小学校の児童2名による、姫路駅での一日駅長体験を実施 【今後の展開】本年度ご利用状況を精査の上、来年度実施について検討					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信	ー	JR西日本及び各自治体		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】通年 【実施状況・課題】登録スポット数 14件　登録イベント数 11件					
姫新線車内路線図	龍野北高校総合デザイン科生徒による沿線の特産品などをデザインした車内路線図の作成 （2025年度：17回目）	ー	JR西日本及び兵庫県立龍野北高校		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】通年 【実施状況・課題】神戸新聞などのメディアに掲載され、情報発信できている 【今後の展開】龍野北高校との連携を継続し、新たな取組を模索					
姫新線車両基地ファミリー見学会	姫新線のご利用機会をつくり、親しみを持っていただくために実施する余部車両基地内の見学及びお仕事体験イベント	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会（姫路市） JR西日本			
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】11月22日 【実施状況・課題】 ・参加人数　33組 101名（応募420組1358名） ・運転シミュレーター体験など、車両基地ならではのJRのお仕事体験 ・地元太市の竹を使ったモノづくり体験 ・参加者には姫新線を利用することを条件として、会場と駅間で送迎バスを手配 【今後の展開】来年度も実施予定			●		

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
会員事業所への利用依頼及びHPによる広報活動	会員事業所に鉄道利用を促すチラシを配布するとともに、HPに掲載することで事業所（通勤者）の鉄道利用を促進	商工会予算	たつの市商工会	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】11月25日 【実施状況・課題】HP掲載：11月25日・LINE公式アカウント掲載：11月25日 【今後の展開】定期的にHP、SNSに掲載し、広報していく					
会員事業所への姫新線利用呼びかけ	商工会HP、Facebook等のSNS及び会員へのＤＭ発送により姫新線利用の呼びかけを実施	―	佐用町商工会	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】通年 【実施状況・課題】姫新線の現状等の説明と利用告知の統一チラシ等が必要 【今後の展開】引き続き姫新線の利用について呼びかけを実施					
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺活性化の取組を行う事業者、地域団体等に対する事業費の補助 （補助率1/2、上限200千円）	200千円 200千円	佐用町 西播磨県民局			
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】**コバコ株式会社 【期間】10月6日、11月3日 【実施状況・課題】佐用駅前商店街の古地図を作成、広報誌に折り込み全戸配布 新聞記事を見た人から、欲しいとの問い合わせも数件有 佐用高校生主体イベントにて配布 【今後の展開】地域住民との交流の場の構築、駅周辺の賑わいの創出、姫新線維持に対する意識の向上につなげる			●	●	

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
西栗栖観光情報看板のお披露目＆西栗栖えきまえ夜市	西栗栖駅前の観光看板をリニューアルし、そのお披露目を行った。屋台やキッチンカーを招き、駅前で夜市を実施	たつの市補助金他	西栗栖連合自治会 しんぐうNext	●	●	●
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】10月18日 【実施状況・課題】西栗栖連合自治会と協働で実施し、賑わい創出に繋げた 【今後の展開】ローカル線利用促進事業を引き続き実施					
【再掲】謎解きイベント	『佐用町大収穫祭』佐用駅前で謎解きイベント開催	―	しんぐうNext （コバコ株式会社）	●	●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】11月3日 【実施状況・課題】市町をまたいだ沿線地域の連携体制の整備に繋げた 【今後の展開】ローカル線利用促進事業を引き続き実施					
【新】沿線学生による「マイレール月間」の取組	主な利用者である学生自らが、利用促進や地域住民等への関心を高める取組などを集中的に実施し、「マイレール=自分たちの鉄道」意識の醸成を図った	385千円	西播磨県民局	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】3月 【実施状況・課題】中づり広告掲出、利用啓発講演会、駅周辺の清掃活動、ノベルティの作成等 【今後の展開】利用者のマイレール意識醸成を図れるよう引き続き任意の期間を設け、集中的に利用促進に向けた取組を実施していく					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】岡山県との連携事業	JR姫新線は、兵庫・岡山両県を結ぶ広域的な鉄道ネットワークを形成する路線であるため、岡山県美作県民局と連携して、沿線市町のPRを実施	100千円	西播磨県民局	●	●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】美作県民局と西播磨県民局が連携し、各駅舎等にチラシ配架スペースを設置するなど相互に沿線市町のPRを実施 【今後の展開】沿線市町のPR等を互いの市町で行っていく					
県民局職員による「月イチ！姫新線乗車大作戦」の推進	県民局職員に対し、月１回以上の姫新線乗車を呼びかけ	―	西播磨県民局	●		
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】通年 【実施状況・課題】県職員を対象に姫新線乗車の呼びかけを実施 【今後の展開】職員への利用促進を継続					
姫新線グッズ作成	イベントで配布できるようなノベルティを作成・配布	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会 （西播磨県民局）		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【実施状況・課題】龍野北高校総合デザイン科が作成した車内路線図を活用したクリアファイル、ステッカーのノベルティを作成 【今後の展開】利用促進イベント、沿線学校に配布					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
イベント列車の運行 (工作体験&金出地ダム探検ツアー)	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施し、沿線地域外に対する姫新線のＰＲや認知度向上を図った	246千円	西播磨県民局		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】**39名 【期間】８月23日 【実施状況・課題】全員が参加者アンケートにてまた乗りたいと回答 【今後の展開】参加者アンケートを実施し実際の声をもとに姫新線の県内・外へのPRに役立てる					
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー（西はりま天文台）	姫新線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施 姫新線のPR及び利用促進と万博開催に向けた機運醸成を図った					
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】**31名 【期間】12月６日 【実施状況・課題】参加者アンケートにて9割の参加者がまた乗りたいと回答 【今後の展開】参加者アンケートを実施し実際の声をもとに姫新線の県内・外へのPRに役立てる					
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー （利神城と平福ガイドツアー）	姫新線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施 姫新線のPR及び利用促進と万博開催に向けた機運醸成を図った	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会 （西播磨県民局）		●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】**20名（応募96名） 【期間】3月14日 【実施状況・課題】参加者アンケートでは８割がまた乗りたいと回答 一方、「本数の少なさ」の指摘や「車の方が便利」との意見もあった 【今後の展開】実際の声をもとに姫新線の県内・外へのPRに役立てる					

令和7年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
姫新線ファンクラブ	SNS「X」の公式アカウントのフォロワーをファンクラブの会員と定め、姫新線に関する情報を随時発信	―	姫新線利用促進・活性化同盟会	●	●	
（実施結果・今後の展開等）	**【実施結果】** 【期間】週に一度ペースで「X」を更新中、フォロワー数448名 【実施状況・課題】自治体で積極的な情報発信を実施 【今後の展開】引き続き沿線イベントのPRや観光情報など積極的に発信する					

参考資料２

ＪＲローカル線 維持・利用促進協議会 設置要綱

ＪＲローカル線 維持・利用促進協議会 設置要綱

（設置）

第１条　兵庫県内におけるＪＲ山陰線（城崎温泉～浜坂、浜坂～鳥取）、同加古川線（西脇市～谷川）、同姫新線（播磨新宮～上月、上月～津山）、同播但線（和田山～寺前）及び同赤穂線（播州赤穂～長船）の５路線７区間（以下「ＪＲローカル線」という。）を維持・活性化するため、利用促進施策について、関係市町、事業者、有識者等の意見を広く聴取する「JR ローカル線 維持・利用促進協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　協議会の所掌事務は次のとおりとする。

(1) ＪＲローカル線の維持・活性化に係る利用促進策の取組状況の把握と改善の検討、優良事例の横展開、他県を含む広域連携の調整

(2) 前号に掲げるもののほか、ＪＲローカル線の維持・活性化に関し必要な事項

（組織）

第３条　協議会は、別表に定める委員をもって構成する。

２　委員の任期は、本要綱の施行の日から令和９年３月 31 日までとする。

（事務局）

第４条　協議会の事務局は、兵庫県企画部総合政策課及び土木部交通政策課に置く。

（協議会）

第５条　協議会は事務局が招集する。

２　委員は都合により協議会を欠席する場合は、代理の者を出席させることができることとし、代理の者の出席をもって当該委員の出席とみなす。

３　事務局は、利用促進策の検討等にあたり必要と認めるときは、協議会に委員以外の者の出席を求めることができる。

（ワーキングチーム）

第６条　協議会に、第１条に定める路線ごとにワーキングチーム（以下「WT」という。）を置く。

２　WT の運営については、別に定める。

（謝金）

第７条　第３条第１項に定める委員のうち有識者委員及び第５条第３項に定める者（ただし、有識者に限る。）が、協議会及び協議会に係る職務に従事したときは、別に定めるところにより謝金を支給する。

（旅費）

第８条　第３条第１項に定める委員のうち有識者委員及び第５条第３項に定める者（ただし、有識者に限る。）が、協議会及び協議会に係る職務のために旅行したときは、兵庫県職員等の旅費に関する条例（昭和 35 年兵庫県条例第 44 号）の規定により旅費を支給する。

（補則）

第９条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は、令和８年４月１日から施行する。

（要綱の失効）

２　この要綱は、令和９年３月 31 日限り、その効力を失う。

（別表）

第３条第１項に規定する委員は次のとおりとする。

区　分		氏　名	所　属　・　役　職
WT 代表（沿線市町）		門間　雄司	豊岡市長（山陰線 WT 代表）
		片山　象三	西脇市長（加古川線 WT 代表）
		山本　　実	たつの市長（姫新線 WT 代表）
		藤岡　　勇	朝来市長（播但線 WT 代表）
		牟礼　正稔	赤穂市長（赤穂線代表）
ＪＲ西日本		平田　恭子	近畿統括本部兵庫支社長
交通事業者		長尾　　真	(公社)兵庫県バス協会会長
観光事業者		草刈　　徹	(一社) 日本旅行業協会関西支部 兵庫県支部長
有識者	交　通	北川　博巳	近畿大学准教授
	まちづくり	畑本　康介	（株）緑葉社代表取締役
	観　光	古田　菜穂子	兵庫県立大学大学院特任教授
ひょうご観光本部		奥野所　正樹	専務理事
兵 庫 県		守本　真一	副知事
		川井　史彦	企画部長
		宇野　文章	土木部長
		井筒　信太郎	企画部次長
		中村　浩明	土木部次長
		山北　貴子	産業労働部観光局長
		澤田　純一	まちづくり部次長

（オブザーバー）

近畿運輸局	平山　耕吏	交通政策部長
	川又　淑史	鉄道部長
兵 庫 県	上田　英則	但馬県民局長
	梅田　孝雄	北播磨県民局長
	中野　恭典	西播磨県民局長
	井野　健三郎	中播磨県民センター長
	福井　昌樹	丹波県民局長

第７条にて定める委員の謝金

「ＪＲローカル線維持・利用促進協議会」は、ＪＲローカル線の維持・活性化に係る利用促進策の検討等にあたり、幅広い専門的知見を有する有識者による指導・助言を得るための協議会であることから、有識者委員の謝金については、「委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例」に定める審議会等の委員の報酬の額に準ずるのが妥当である。

よって、有識者委員に対して支給する謝金の額は、下表のとおりとする。

委員の区分	謝金の額
有識者委員 （第５条第３項に定める者を含む）	日額　１３，０００円